

世界史B 3ビザンツ帝国と東欧

1,ビザンツ帝国

「()1帝国の皇帝専制主義・()2文化を継承
↳商工業・交易による諸都市の繁栄・活況 →西方とは異なる専制国家体制を維持

()3帝(位527~565)
「イタリアの東ゴート王国(493~555)とアフリカのヴァンダル王国(429~534)を滅ぼす
↳イベリア半島南部の西ゴート王国(415~711)領の一部も獲得
→ローマ帝国の旧領土をほぼ回復。

「法の集大成→『()4法大会』→中世ヨーロッパに継承→現代にも影響
↳中国渡来の()5業をおこし→絹を生産, 商工業を統制

()6王国(568~774)のイタリア侵入など→ビザンツの西方における支配は後退
ヘラクレイオス1世(位610~641)

東方のササン朝ペルシャや騎馬遊牧の()7人、ブルガール人の侵入
「公用語をラテン語から()8語へ・領土縮小→バルカン、小アジアの国家となる
↳地方→軍管区=()9設置・世襲の屯田兵制=自作農 司令官→独立権カ化

レオン3世(位717~741)
「()10教皇主義--皇帝による教会支配・専制体制
↳()11崇拜禁止令--聖像による伝道を行うローマ教会との対立→ギリシャ正教

11世紀()12朝(1037~1158)に、アナトリアを占領される
→ニケーアで()13=セルジューク朝(1077~1308)成立→圧カ
→西ヨーロッパに援助を求める→十字軍(1096~1272)のきっかけ

1204年第4回十字軍が首都を占領→()14帝国(1204~61)建国
→バルカンの小国に転落(のち首都を奪還)

1453年()15帝国(1299~1922)によりコンスタンティノープル陥落→滅亡

2,ビザンツ帝国の社会と文化

「大土地所有制と()16制◆a→西方に比べて自作農・自由農民も数多く存在
◆a--ローマ帝政期の小作農。奴隷と異なり自由人で、財産権やローマ市民権を有した。
↳7世紀からの軍管区制=テマ制→軍事と行政を統合 →司令官が統治
世襲の兵役義務をもつ()17兵を各地に入植→自由農民育成・封建化阻止の目的
↳11世紀()18制◆bが進展 →封建化の進行・帝国の衰退
◆b--大土地所有者に軍事奉仕と引き換えに国有地の管理権(プロノイア)を与える制度。世襲化。

首都「()19
「東方との交易の一大中心地, 西方の都市をしのぐ繁栄
↳7世紀にはギリシア語を公用語に 9世紀スラブ人への布教→()20文字
↳ギリシア文化を守り, のちにそれらを西ヨーロッパに伝える役割
美術・建築→「()21様式→円屋根(ドーム)とモザイクの壁画
「コンスタンティノープルのハギア(聖)=ソフィア(アヤ=ソフィア)教会(537)
↳()22=東ゴート王国の首都・のちビザンツ領=のサン=ヴィターレ教会,
↳()23=名目上ビザンツに属す=のサン=マルコ大聖堂など

3,スラブ民族と東ヨーロッパ

()24人→「スラーヴァ」=「偉大」「栄光」 居住地カルパチア山脈周辺。
6~7世紀、東ヨーロッパ、バルカン半島に移動・定住→ビザンツ帝国の影響
「ロシア(東スラブ族) リューリク率いるノルマン(ルス族)が建国→東スラブと同化
()25国(862頃~1478) 貴族共和制。ビザンツやイスラム諸国と交易。
()26公国(882~1240) 正式な国名は「ルーシ」。やがて大公国となる。
大公ウラディミール1世(位980~1015) ギリシア正教を国教とし, ビザンツ文化を受容

トチエック人(西スラブ族) 6世紀以降移住。9~10世紀にかけて国家形成。

()27王国(9~10世紀) 東フランク王国に従いカトリックを受容。
()28=ベーメン王国(10世紀~) 建国 11世紀に神聖ローマ帝国に編入
→ポーランド人とともにカトリックに改宗

↳ポーランド人(西スラブ族) ()29王国(963頃~1795) カトリック
カジミエシュ3世(位1333~70)=「大王」「農民王」=のとき最盛期
14世紀リトアニアと()30朝リトアニア=ポーランド王国(1386~1572)→大国化

南スラブ族 6~7世紀に()31半島に定住
「スロヴェニア人 アドリア海最北部。神聖ローマ帝国の辺境に居住してその支配下に
トクロアティア人 アドリア海沿岸北部。カール大帝に朝貢してカトリックに改宗
↳()32人 アドリア海沿岸中部。ビザンツに隣接。9世紀ギリシア正教に改宗

4,アジア系の諸民族

()33人(ウラル語族) ウラル山脈周辺から9世紀ヨーロッパへ移動。
東フランクのオットー1世(位936~962)にレヒフェルトの戦い(955)で撃退される
10世紀末イシュトヴァーン1世(位997~1038)()34王国建国 カトリック化
12~13世紀「大ハンガリー王国」--クロアチア、スロヴァキアなど併合→最大領土

ブルガール人(トルコ系)
7世紀バルカンに建国→のちにビザンツに併合され, ギリシア正教に改宗
12世紀独立→()35王国→南スラブと同化

5.ラテン系の人々 (ローマの植民地ダキア=今のルーマニア地方=に居住)

14世紀ワラキア・モルダヴィア公国建国
→のちの()36王国(「ローマ人の子孫の国」)の起源
文化的にはビザンツに属し, ハンガリーと接する→カトリック文化の影響も



アヤ・ソフィア



ユスティニアヌス



イコン(アヤ・ソフィア)



聖母子(アヤ・ソフィア)



カジミエシュ3世



イシュトヴァーン1世

- ・養蚕 ・皇帝 ・屯田 ・テマ ・スラブ ・ラテン ローマ(2) ・ルーム ・キエフ ・キリル ・オスマン
- ・ギリシア(2) ・バルカン ・ボヘミア ・ヤゲウォ ・コロヌス ・セルビア・アヴァール ・ラヴェンナ
- ・ポーランド ・ハンガリー ・ブルガリア ・モラヴィア ・マジャール ・ルーマニア ・ノブゴロド
- ・プロノイア ・ヴェネツィア ・セルジューク ・ランゴバルド ・ユスティニアヌス